2025年度
松本大学 卒業生アンケート
（4年目）
調査結果

松本大学　内部質保証室

【調査の概要】

対象：390人(2021年度卒業生のうち大学側で住所が把握できた方)

調査方法：WEB回答

調査期間：2025年8月6日～2025年9月8日

回答者数：101人

回答率：25.9%

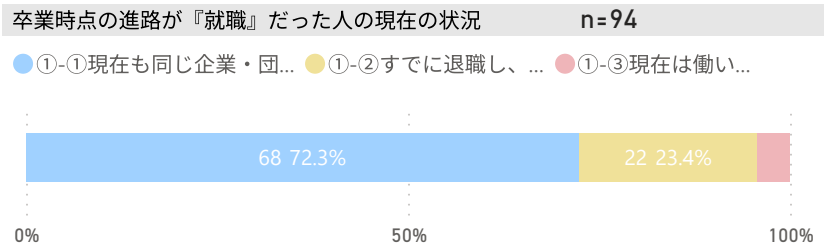
2025年度 松本大学卒業生（4年目）アンケート　結果概要

①調査概要

対象：390人（2021年度卒業生のうち大学側で住所が把握できた方）
調査方法：WEB回答
調査期間：2025年8月6日～2025年9月8日
回答者数：101人
回答率：25.9%

卒業学科	回答者数
①総合経営学科	15
②観光ホスピタリティ学科	22
③健康栄養学科	25
④スポーツ健康学科	17
⑤学校教育学科	22
合計	**101**

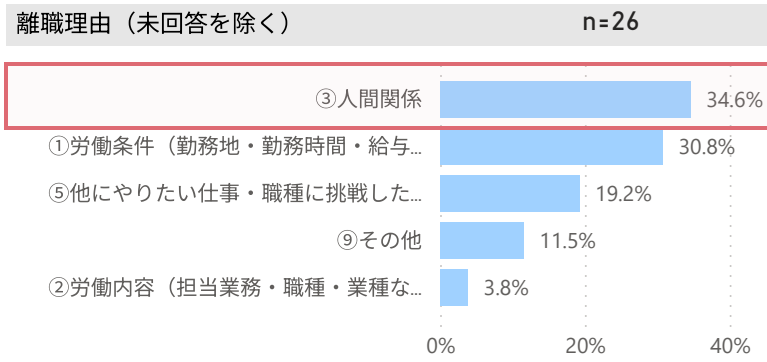
②最初に就職した企業・団体の離職および定着状況



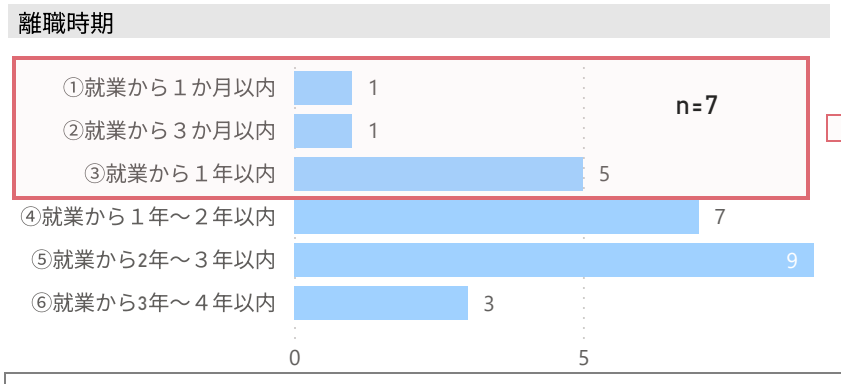
卒業時点の進路	①就職	
現在の状況	回答数	割合
①-①現在も同じ企業・団体で働いている	68	72.3%
①-②すでに退職し、他の企業・団体で働いている（転職）	22	23.4%
①-③現在は働いていない（離職・求職中・家事・療養など）	4	4.3%
合計	**94**	**100.0%**

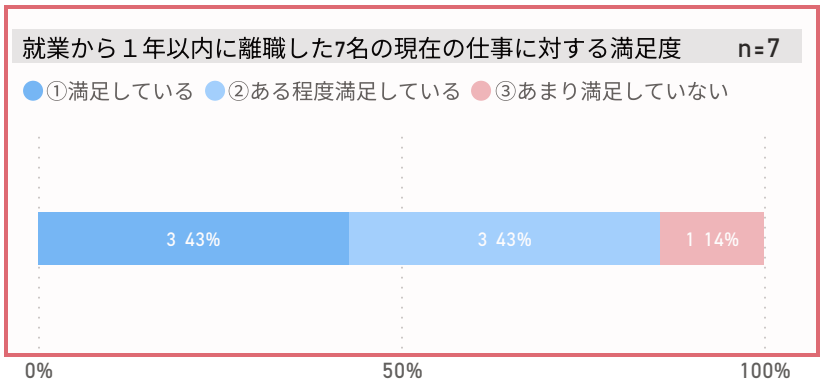
厚生労働省が公表している新規大学卒就職者の離職状況(令和３年３月卒業者)の就職後３年以内の離職率は、34.9%である。
本学が実施した今年度調査の離職率は27.7%であり、全国と比較してもやや低い水準であり、本学卒業生は比較的定着率が高いといえる。

③離職理由と離職時期



離職理由	回答数	割合
③人間関係	9	34.6%
①労働条件（勤務地・勤務時間・給与・休日など）	8	30.8%
⑤他にやりたい仕事・職種に挑戦したかった（キャリアチェンジ）	5	19.2%
⑨その他	3	11.5%
②労働内容（担当業務・職種・業種など）	1	3.8%
合計	**26**	**100.0%**





今回のアンケートでは、最初に就職した企業・団体を離職した理由として、最も多かったのは「人間関係」で34.6%となった。
昨年度の調査における同理由の割合（10.3%）と比較しても増加しており、人間関係に起因する早期離職が一定数存在していることが確認できる。

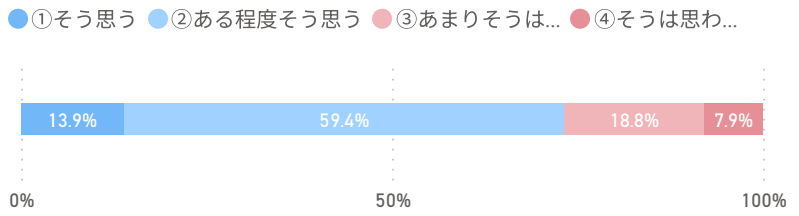
また、１年未満で離職した7名のうち、5名が「人間関係」を理由にあげており、今回の回答者においては、新卒入社後1年未満で離職した者の約70%が、人間関係を理由に離職していた。
厚生労働省「2018年 若年者雇用実態調査」によれば、新卒入社後1年未満で離職した者のうち、約40%が「人間関係がよくなかった」と回答しているため、 本学卒業生における状況は、全国的な若年層の離職傾向と比較し高いといえる。

ただ、就職前の段階で実際の職場内の人間関係や雰囲気を把握することは簡単ではない。
早期離職を抑制する観点からは、OB・OG訪問を推進する、就業現場の見学機会の確保のような 入社前に職場理解を深める機会が有効となる可能性もある。

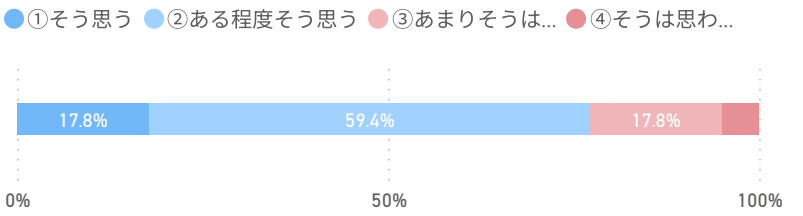
一方で、入社後１年未満で離職した7名は既に別の企業で就業しており、そのうち6名は現在の仕事に「満足している」「ある程度満足している」と肯定的な回答であった。 このことから、在職期間の短さが必ずしもネガティブな結果を意味するわけではなく、本人にとってより適した職場環境へ転職している側面もあると考えられる。

④DP活用度

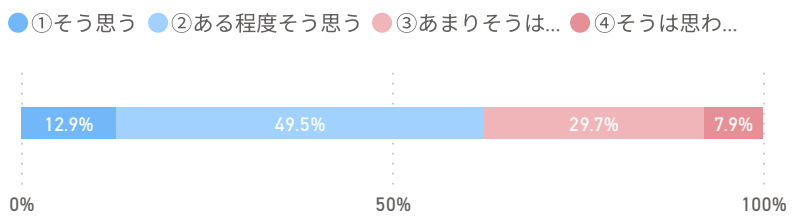
ディプロマ・ポリシー①「地域社会を構成するにふさわしい基礎的能力」を、卒業後に活用していますか？



ディプロマ・ポリシー②「現代社会を広い視野で分析し、自ら判断・行動できる能力」を、卒業後に活用していますか？



ディプロマ・ポリシー③「博士・修士・あるいは学士として社会の期待に応えられる専門的力量」を、卒業後に活用していますか？

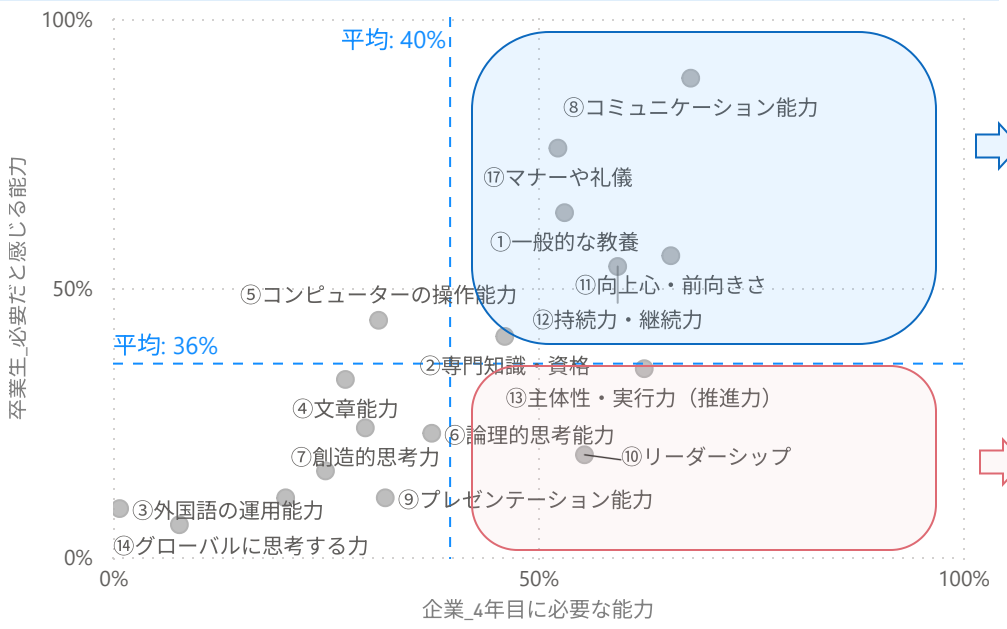


ディプロマポリシー①・②については、業種や職種を問わず求められる力であり、卒業後の職務経験の中でも自然に活用されやすい能力であることから、活用を肯定的に回答した人は約8割となった。
一方、ディプロマ・ポリシー③（専門的力量）についての活用は約6割にとどまっている。
これは、卒業後の就職先が必ずしも学修分野と一致するとは限らないことや、在学中に修得する力と卒業後に実務で発揮される力の間には、タイムラグが生じやすい性質をもつためと考えられる。

⑤企業 × 卒業生における「必要な能力」と「不足している能力」の認識比較

※ここでの企業は、別途実施した2022年4月に卒業生を採用いただいた企業に対する「企業アンケート（就業4年目）」に回答した企業

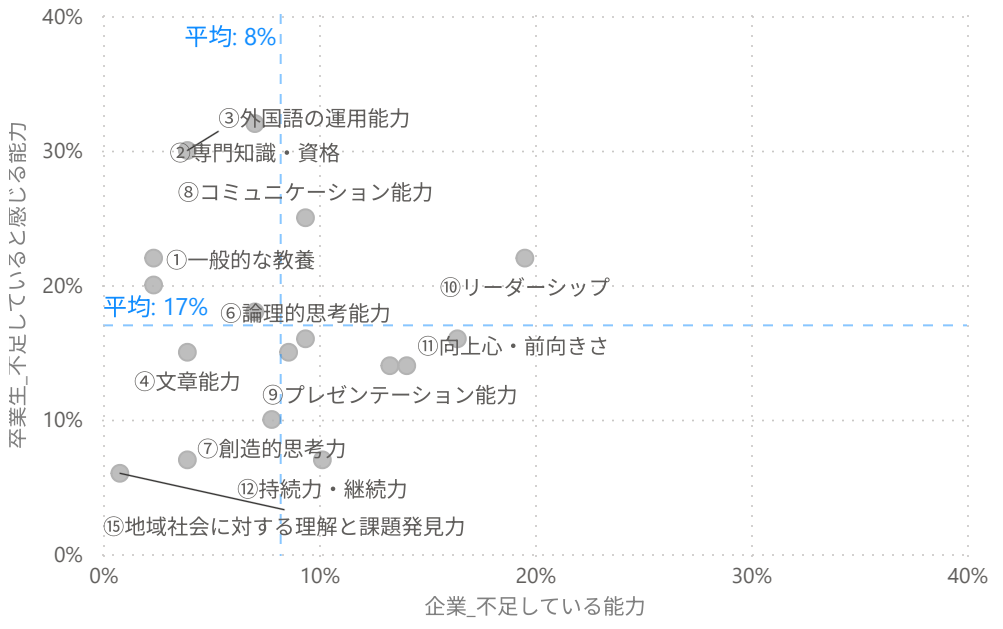
2025年度【企業×卒業生】企業が4年目に必要としている能力×卒業生が必要とされていると感じる能力



コミュニケーション能力、マナーや礼儀、一般的な教養といった社会人としての基礎的能力は、昨年度に引き続き必要性が高い結果となった。
特に今年度は、マナーや礼儀・一般的な教養について、企業の必要度が 30%台から50%超へと上昇しており、対人場面での関係構築の重要性がより意識されていることがうかがえる。

一方で、主体性・実行力（推進力）やリーダーシップについては、卒業生が「社会（職場）において必要」と感じている割合は相対的に低い。
これらの力は業務経験を重ねる中で、求められる場面が増え、必要性を実感することが多いと考えられる。
そのため、企業が必要と認識するタイミングと、卒業生が必要性を感じるタイミングには一定のずれが生じている可能性も考慮したい。
もっとも、こうした力は、学生時代から意識し、経験を積むことで、早い段階から徐々に発揮されやすくなる側面もある。

2025年度【企業×卒業生】企業が卒業生に不足していると感じている能力×卒業生が不足していると感じる能力



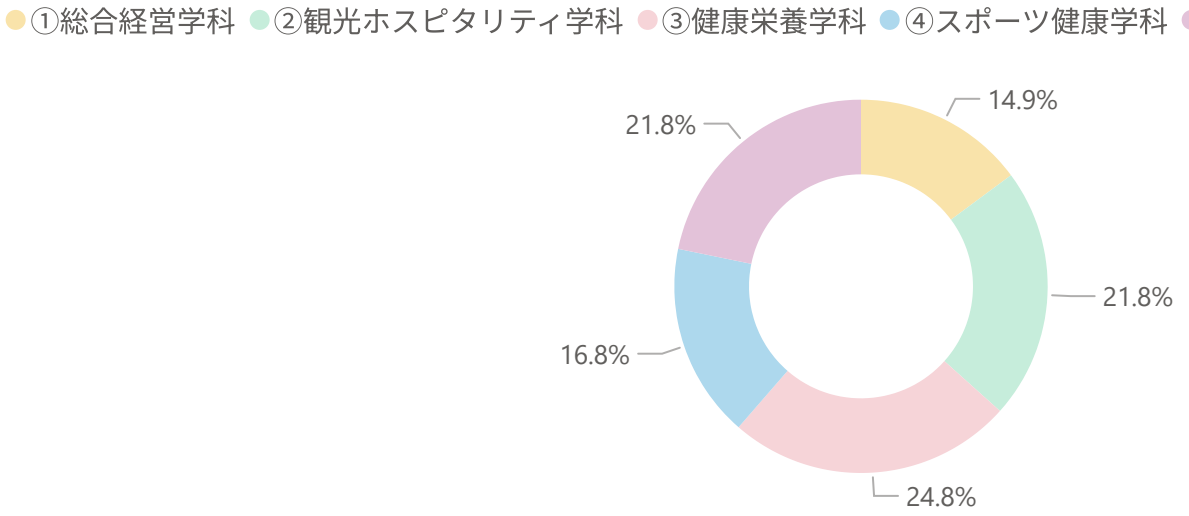
不足していると感じる能力・態度については、回答割合が全体として低い結果であった。

「必要だと感じる能力・態度」の平均選択数は
企業6.8、卒業生6.1であるのに対し、
「不足している能力・態度」の平均選択数は
企業1.7、卒業生2.9と少ない結果となった。

このことから、現状では特定の能力が「明確に不足している」というよりも、「必要」と認識される能力には、企業側の期待が含まれている可能性が高いと考えられる。

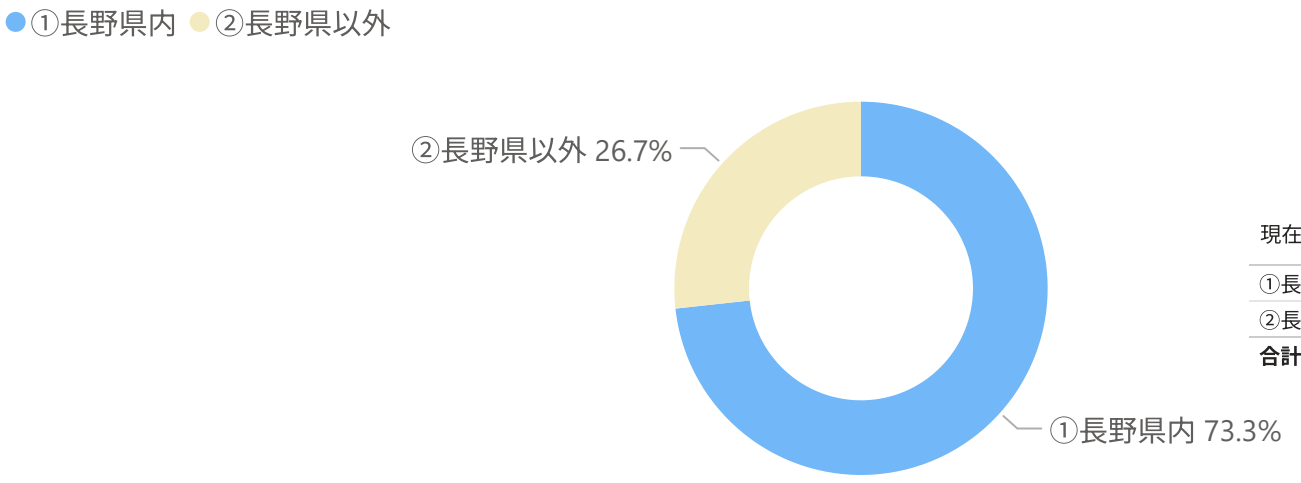
また、リーダーシップは、企業・卒業生ともに不足感を認識している。 まずは、キャリア形成の中で主体性やリーダーシップを徐々に身につけていけるよう、将来期待されることを意識してもらうことが大切だと考える。

1.卒業した学科を教えてください。



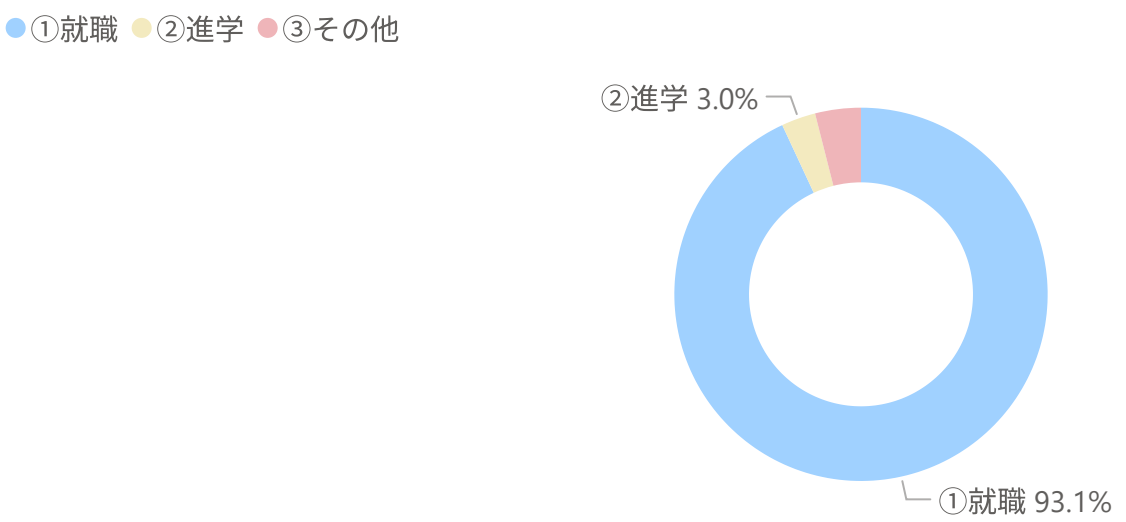
卒業学科	回答数	割合
①総合経営学科	15	14.9%
②観光ホスピタリティ学科	22	21.8%
③健康栄養学科	25	24.8%
④スポーツ健康学科	17	16.8%
⑤学校教育学科	22	21.8%
合計	**101**	**100.0%**

2.現在の居住地域を教えてください。



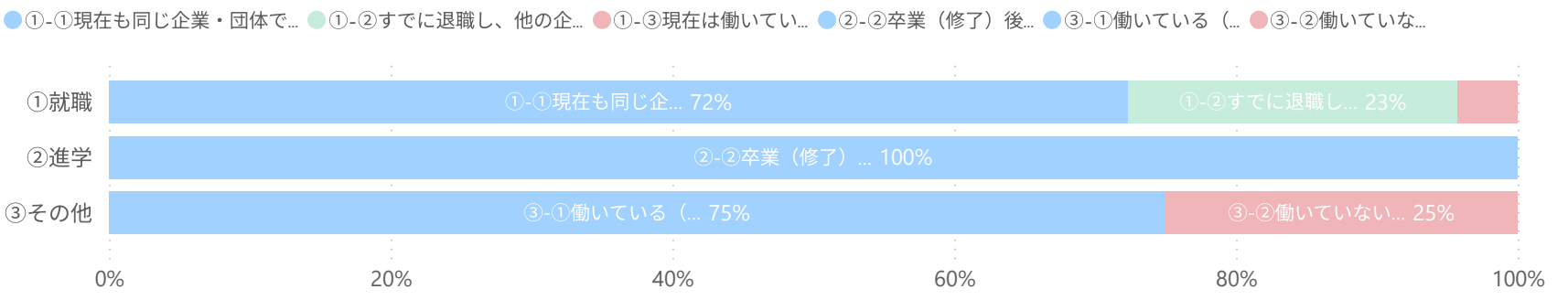
現在の居住地	回答数	割合
①長野県内	74	73.3%
②長野県以外	27	26.7%
合計	**101**	**100.0%**

3.卒業時点での進路について教えてください。



卒業時点の進路	回答数	割合
①就職	94	93.1%
②進学	3	3.0%
③その他	4	4.0%
合計	**101**	**100.0%**

4.卒業時の進路別、現在の就業状況

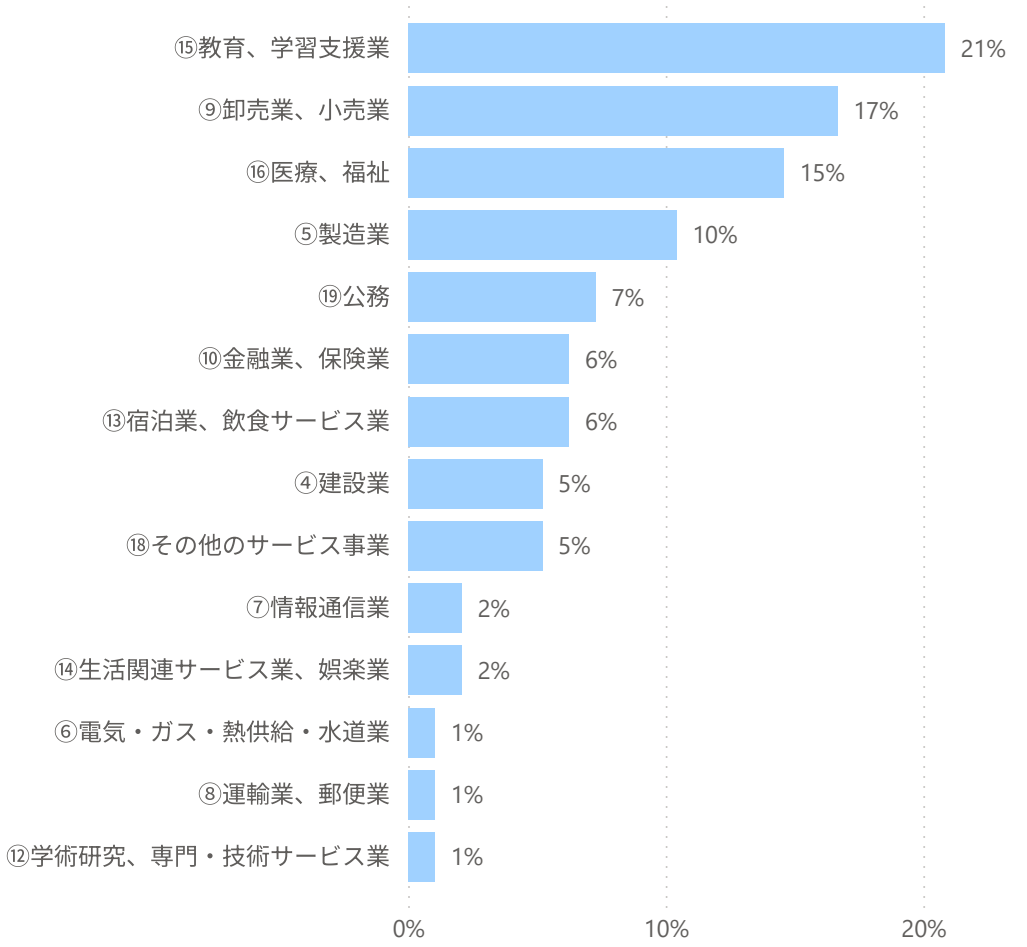


卒業時点の進路	現在の状況	回答数
①就職	①-①現在も同じ企業・団体で働いている	68
①就職	①-②すでに退職し、他の企業・団体で働いている（転職）	22
①就職	①-③現在は働いていない（離職・求職中・家事・療養など）	4
②進学	②-②卒業（修了）後、働いている（就職済）	3
③その他	③-①働いている（どこかに勤めている・自営・フリーランス等）	3
③その他	③-②働いていない（求職中・家事・療養など）	1
合計		**101**

5.（就業中の方のみ） 現在の所属先の業種を教えてください。

n=96

※現在働いていない人は除く



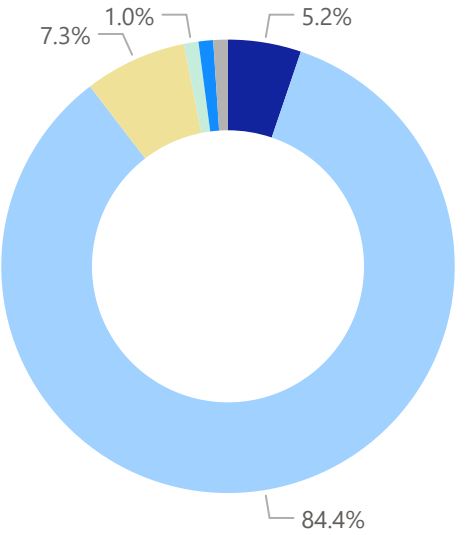
就業中の業種	回答数
⑮教育、学習支援業	20
⑨卸売業、小売業	16
⑯医療、福祉	14
⑤製造業	10
⑲公務	7
⑩金融業、保険業	6
⑬宿泊業、飲食サービス業	6
④建設業	5
⑱その他のサービス事業	5
⑦情報通信業	2
⑭生活関連サービス業、娯楽業	2
⑥電気・ガス・熱供給・水道業	1
⑧運輸業、郵便業	1
⑫学術研究、専門・技術サービス業	1
合計	**96**

6.（現在就業中の方のみ） 現在の就業形態を教えてください。

n=96

●①正規社員・職員（管理職） ●②正規社員・職員 ●③非正規社員・職員 ●④経営者（役員を含む） ●⑤個人事業主（自営業） ●⑥その他

※現在働いていない人は除く



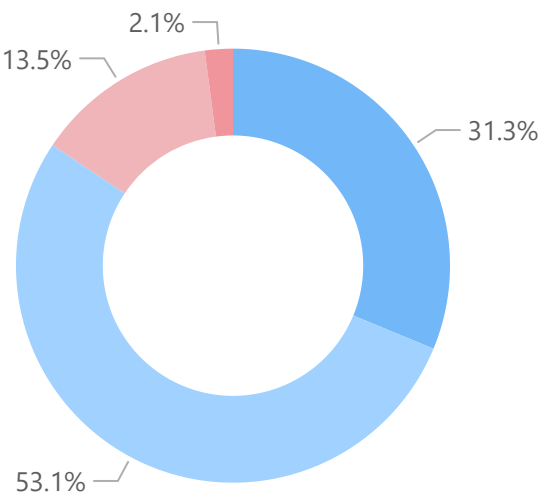
現在の就業形態	回答数	割合
①正規社員・職員（管理職）	5	5.2%
②正規社員・職員	81	84.4%
③非正規社員・職員	7	7.3%
④経営者（役員を含む）	1	1.0%
⑤個人事業主（自営業）	1	1.0%
⑥その他	1	1.0%
合計	**96**	**100.0%**

7.（現在就業中の方のみ） 現在の仕事に対する満足度を教えてください。

n=96

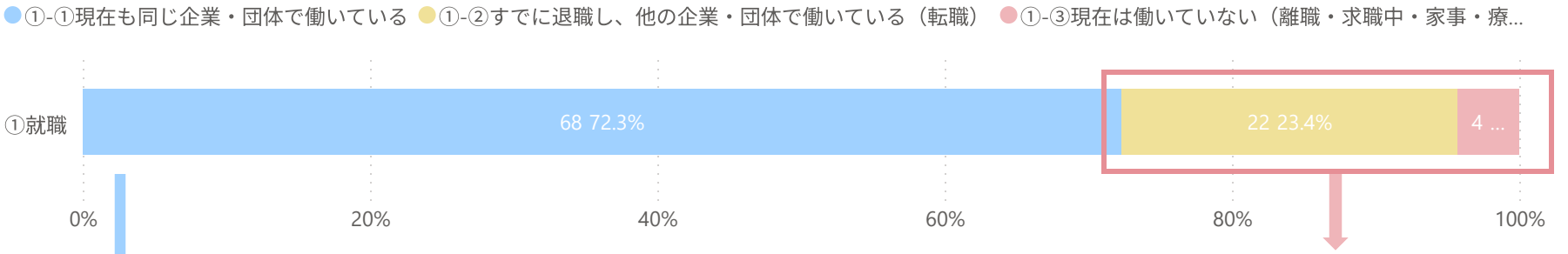
●①満足している ●②ある程度満足している ●③あまり満足していない ●④満足していない

※現在働いていない人は除く

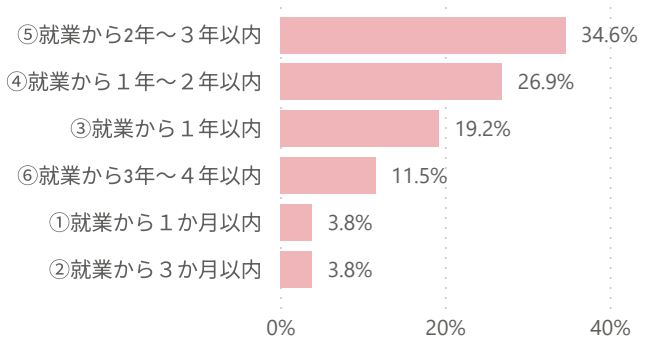


現在の仕事に対する満足度	回答数	割合
①満足している	30	31.3%
②ある程度満足している	51	53.1%
③あまり満足していない	13	13.5%
④満足していない	2	2.1%
合計	**96**	**100.0%**

８．卒業時点の進路が『就職』だった人の現在の状況　n=94

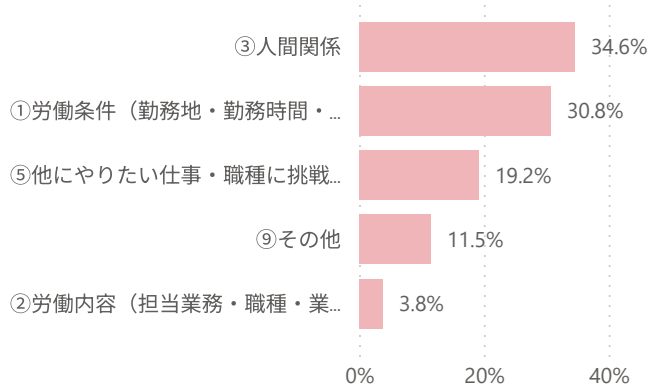


転退職時期　n=26



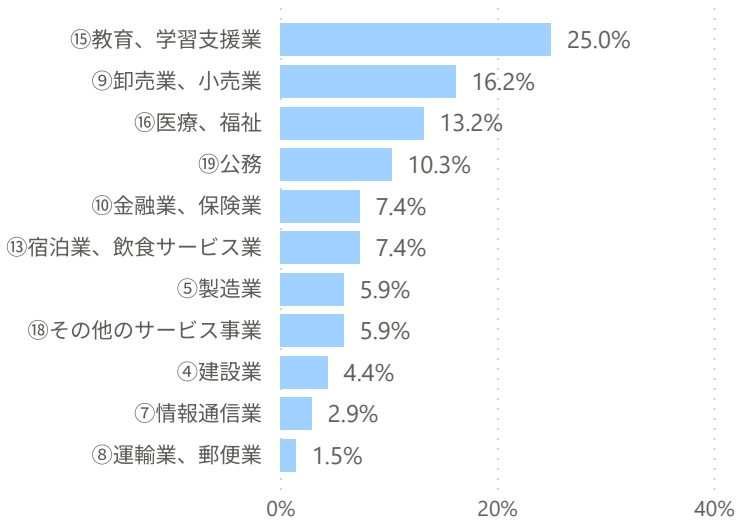
転退職時期	回答者数
⑤就業から2年～３年以内	9
④就業から１年～２年以内	7
③就業から１年以内	5
⑥就業から3年～４年以内	3
①就業から１か月以内	1
②就業から３か月以内	1
合計	**26**

転退職理由（未回答を除く）　n=26



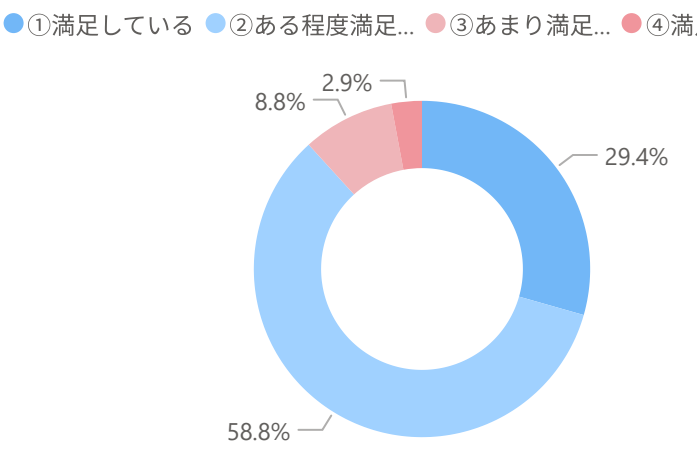
転退職理由	回答者数
③人間関係	9
①労働条件（勤務地・勤務時間・給与・休日など）	8
⑤他にやりたい仕事・職種に挑戦したかった（キャリアチェンジ）	5
⑨その他	3
②労働内容（担当業務・職種・業種など）	1
合計	**26**

現在も同じ企業・団体で働いている人の業種　n=68



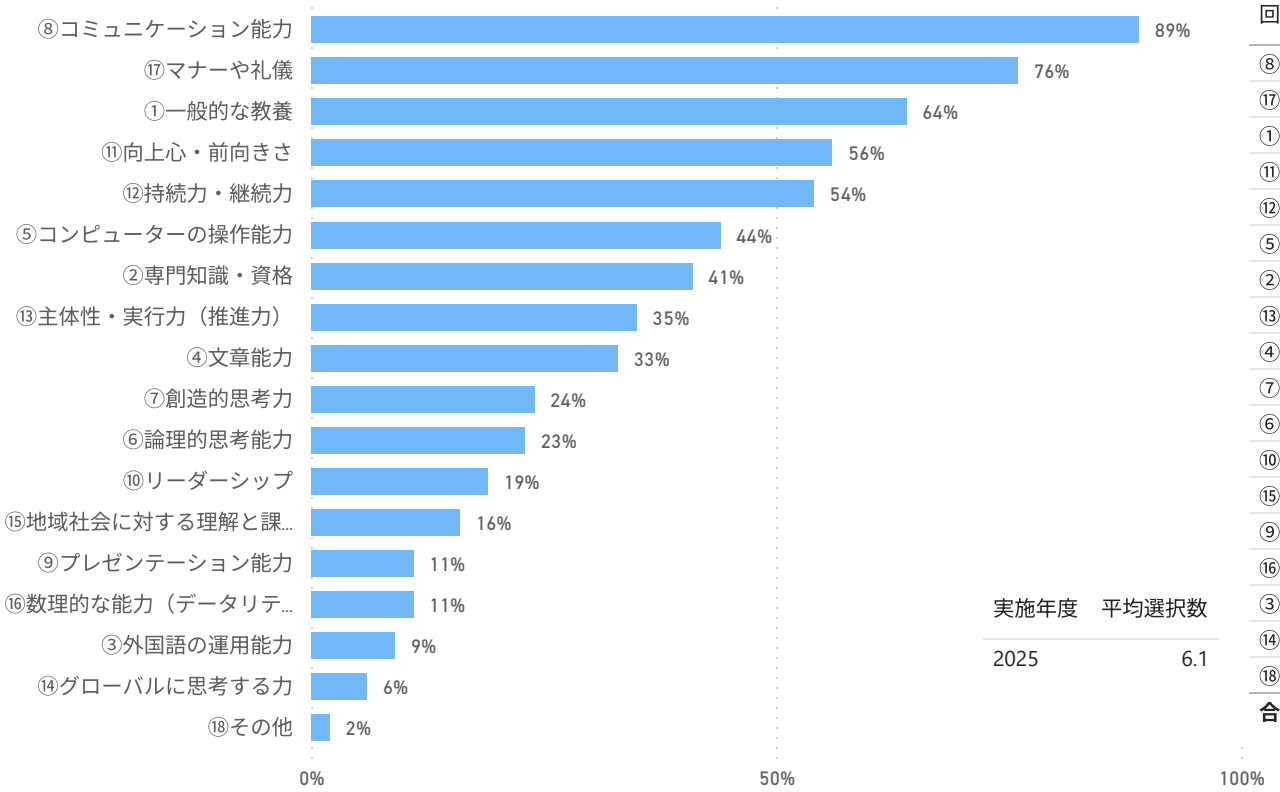
現在の業種	回答数	%
⑮教育、学習支援業	17	25.0%
⑨卸売業、小売業	11	16.2%
⑯医療、福祉	9	13.2%
⑲公務	7	10.3%
⑩金融業、保険業	5	7.4%
⑬宿泊業、飲食サービス業	5	7.4%
⑤製造業	4	5.9%
⑱その他のサービス事業	4	5.9%
④建設業	3	4.4%
⑦情報通信業	2	2.9%
⑧運輸業、郵便業	1	1.5%
合計	**68**	**100.0%**

現在の仕事に対する満足度　n=68



現在の仕事に対する満足度	回答数	%
①満足している	20	29.4%
②ある程度満足している	40	58.8%
③あまり満足していない	6	8.8%
④満足していない	2	2.9%
合計	**68**	**100.0%**

9.社会（職場）で必要とされていると感じる能力・態度を選んでください（複数回等可）。 n=100

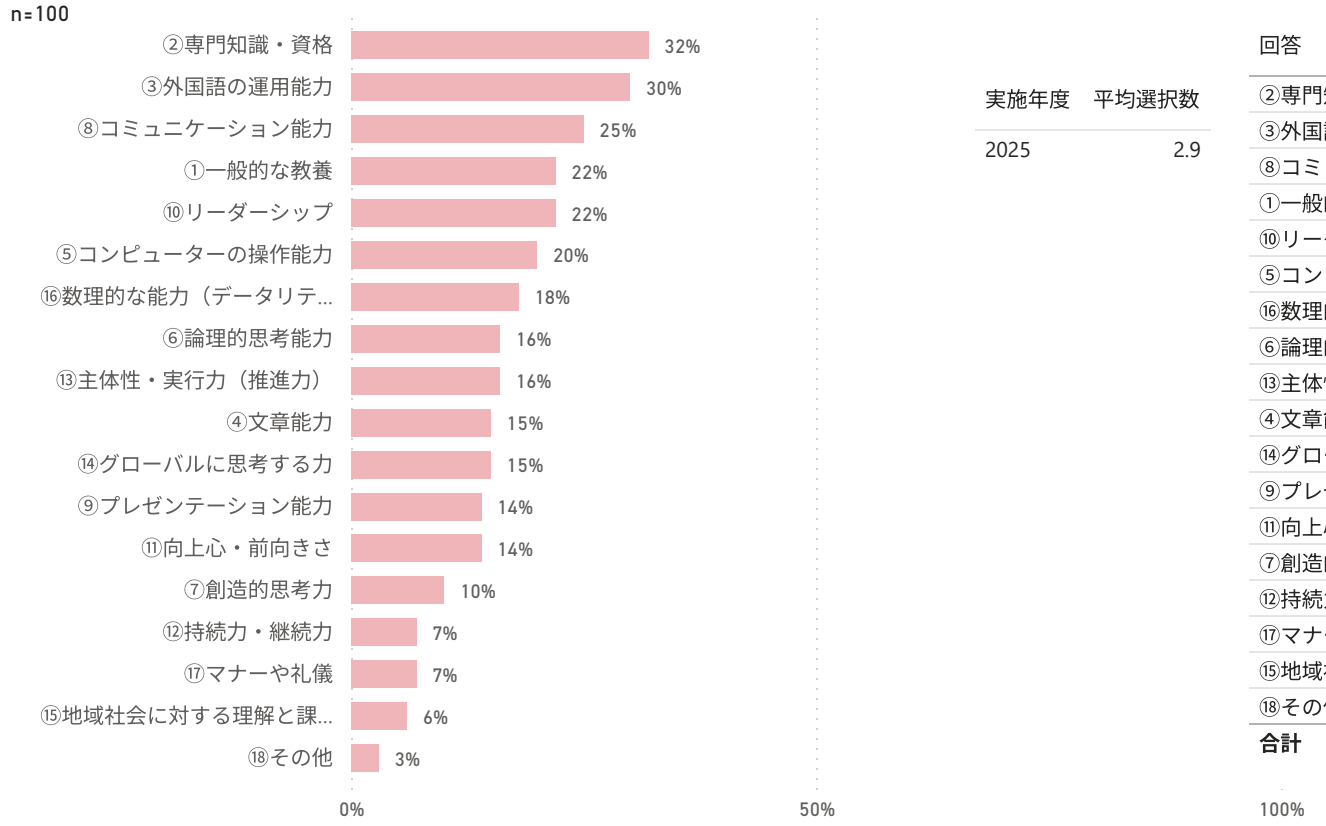


実施年度	平均選択数
2025	6.1

回答	回答数
⑧コミュニケーション能力	89
⑰マナーや礼儀	76
①一般的な教養	64
⑪向上心・前向きさ	56
⑫持続力・継続力	54
⑤コンピューターの操作能力	44
②専門知識・資格	41
⑬主体性・実行力（推進力）	35
④文章能力	33
⑦創造的思考力	24
⑥論理的思考能力	23
⑩リーダーシップ	19
⑮地域社会に対する理解と課題発見力	16
⑨プレゼンテーション能力	11
⑯数理的な能力（データリテラシー）	11
③外国語の運用能力	9
⑭グローバルに思考する力	6
⑱その他	2
合計	**613**

１０.自分が不足していると感じる能力・態度を選んでください（複数回答可）。 n=100

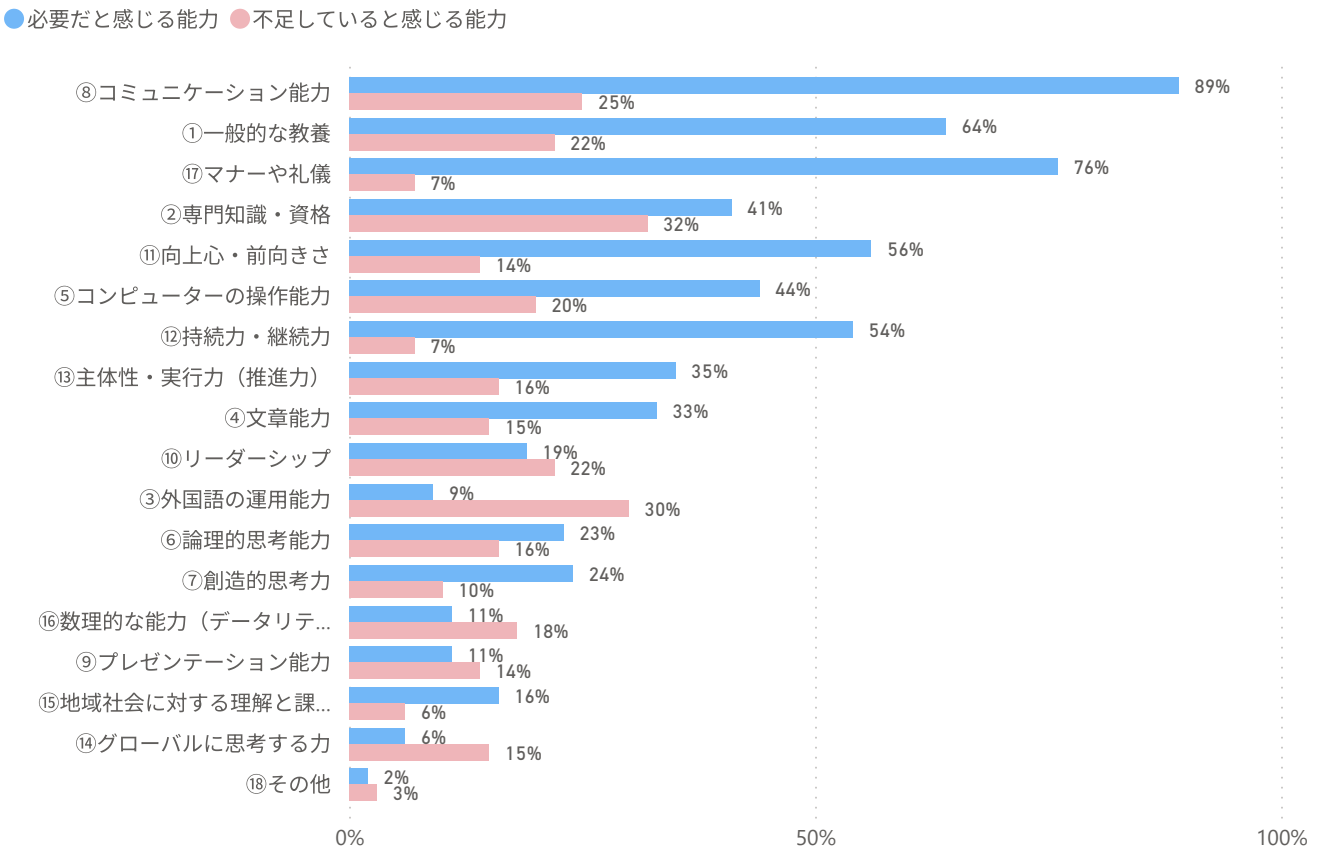
n=100



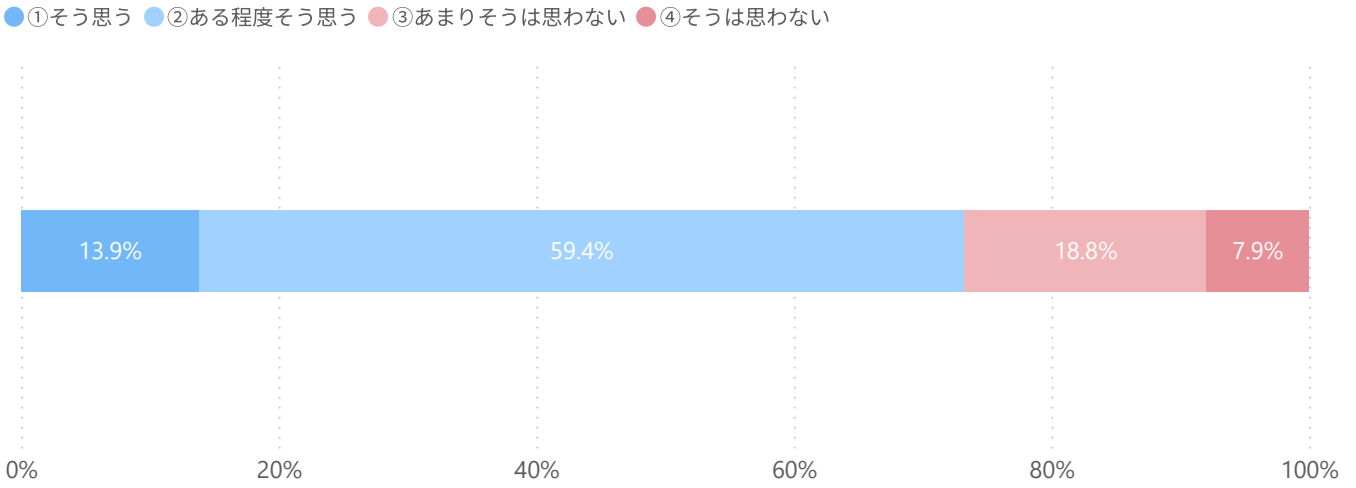
実施年度	平均選択数
2025	2.9

回答	回答数
②専門知識・資格	32
③外国語の運用能力	30
⑧コミュニケーション能力	25
①一般的な教養	22
⑩リーダーシップ	22
⑤コンピューターの操作能力	20
⑯数理的な能力（データリテラシー）	18
⑥論理的思考能力	16
⑬主体性・実行力（推進力）	16
④文章能力	15
⑭グローバルに思考する力	15
⑨プレゼンテーション能力	14
⑪向上心・前向きさ	14
⑦創造的思考力	10
⑫持続力・継続力	7
⑰マナーや礼儀	7
⑮地域社会に対する理解と課題発見力	6
⑱その他	3
合計	**292**

１１必要だと感じる能力と不足していると感じる能力の比較 n=100 n=100

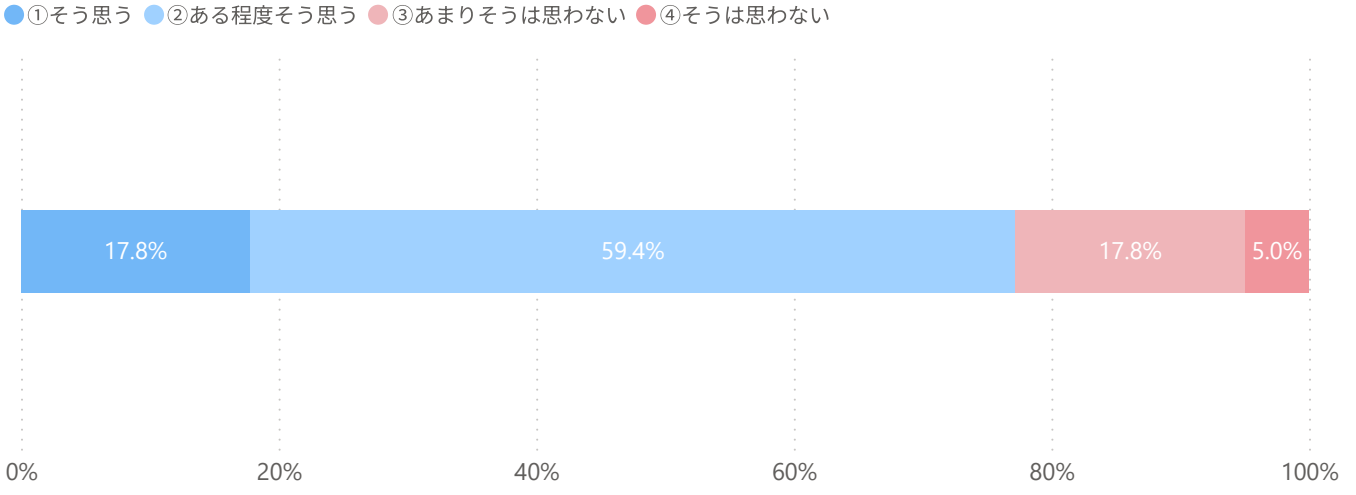


１２.松本大学で身に付けたディプロマ・ポリシー①「地域社会を構成するにふさわしい基礎的能力」を、卒業後に活用していますか？



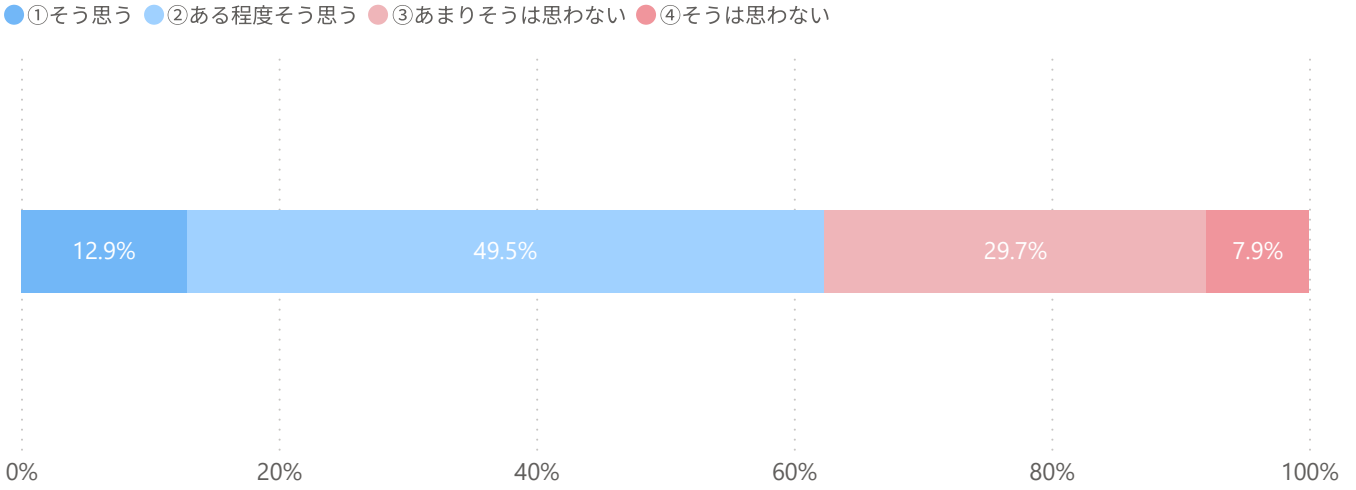
DP①	回答数
①そう思う	14
②ある程度そう思う	60
③あまりそうは思わない	19
④そうは思わない	8
合計	**101**

１３.松本大学で身に付けたディプロマ・ポリシー②「現代社会を広い視野で分析し、自ら判断・行動できる能力」を、卒業後に活用していますか？



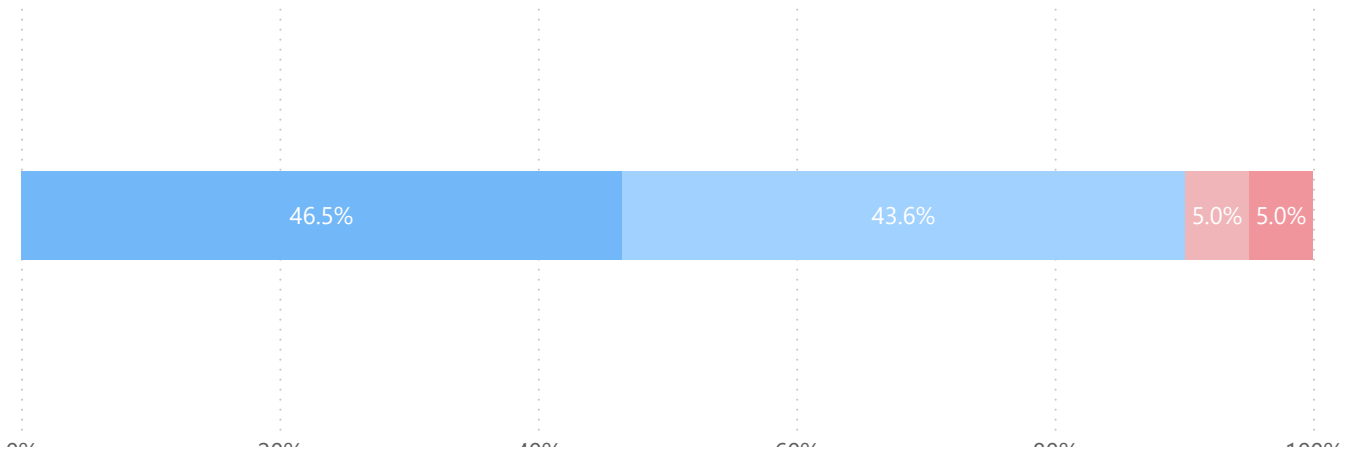
DP②	回答数
①そう思う	18
②ある程度そう思う	60
③あまりそうは思わない	18
④そうは思わない	5
合計	**101**

１４.松本大学で身に付けたディプロマ・ポリシー③「博士・修士・あるいは学士として社会の期待に応えられる専門的力量」を、卒業後に活用していますか？



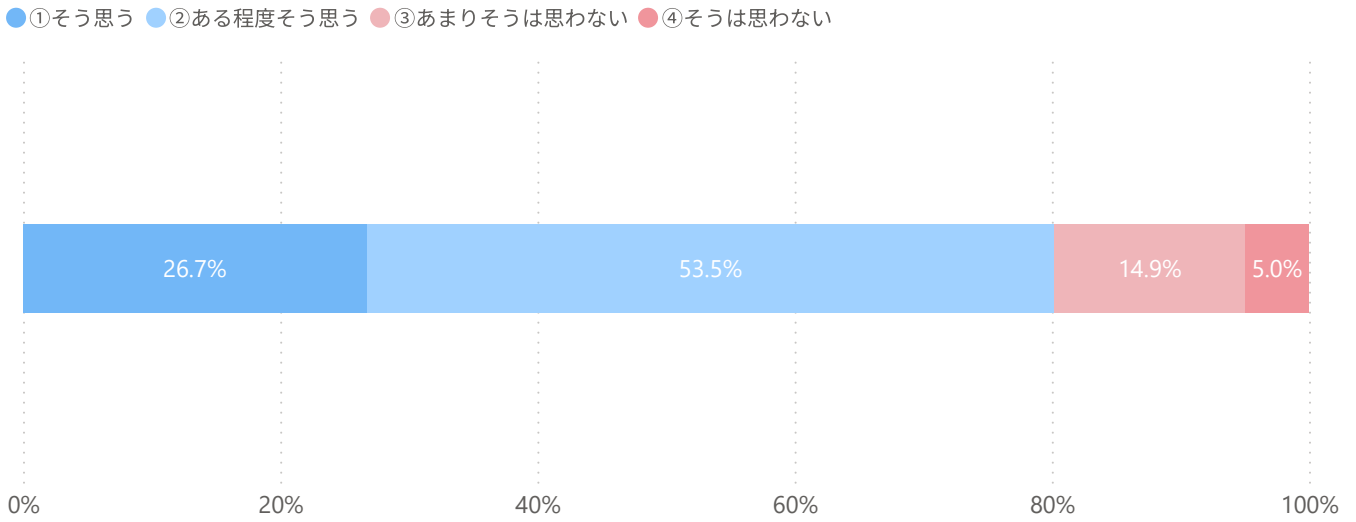
DP③	回答数
①そう思う	13
②ある程度そう思う	50
③あまりそうは思わない	30
④そうは思わない	8
合計	**101**

１５.あなたは卒業した学部学科に入学してよかったと思いますか？



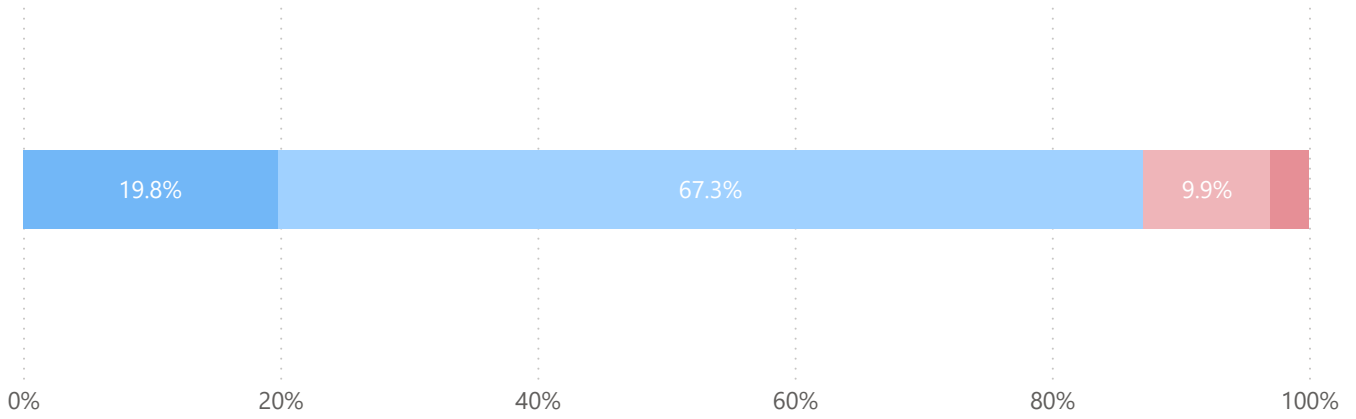
入学して良かった	回答数
①そう思う	47
②ある程度そう思う	44
③あまりそうは思わない	5
④そうは思わない	5
合計	**101**

１６.あなたは松本大学を誇りに思えますか？



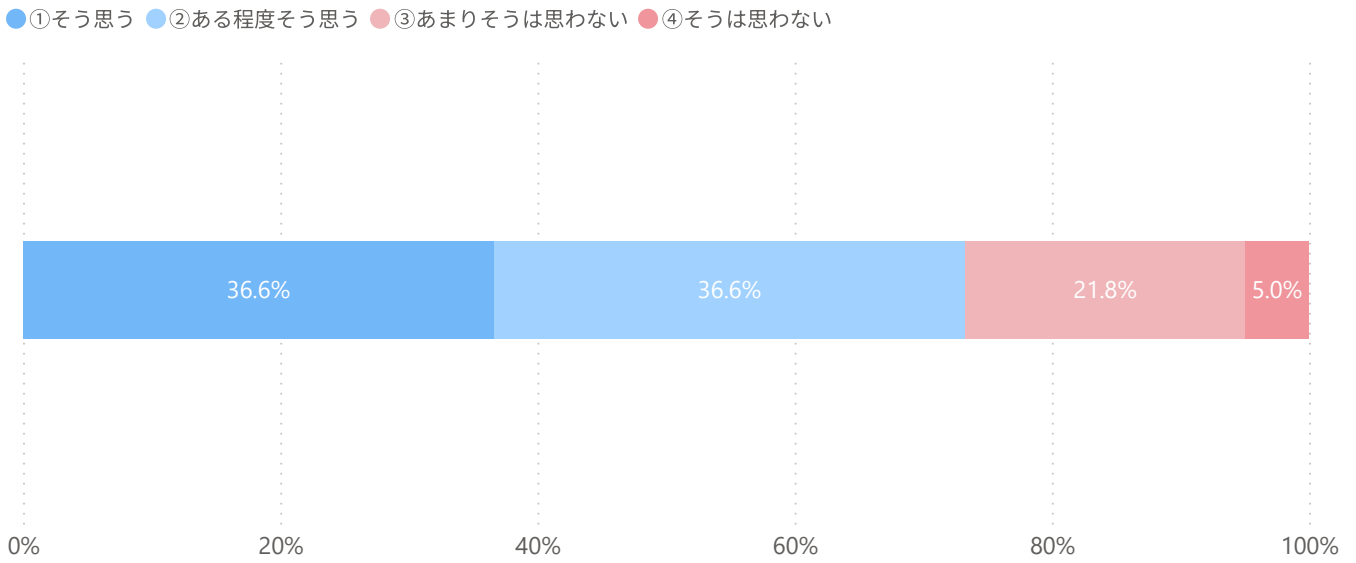
誇りに思うか	回答数
①そう思う	27
②ある程度そう思う	54
③あまりそうは思わない	15
④そうは思わない	5
合計	**101**

１７.松本大学の使命・目的は「自主独立に基づく人間教育を行うことにより、地域社会の振興と地域文化の発展に資する人材を育成し、もって平和で豊かな社会の創造に貢献する」ことです。ご自身の現在の状況から、本学はこれをどの程度達成していると思われますか？



使命・目的の達成	回答数
①そう思う	20
②ある程度そう思う	68
③あまりそうは思わない	10
④そうは思わない	3
合計	**101**

１８.卒業後も社会生活の中で地域と関わり続けていますか？



地域との関わり	回答数
①そう思う	37
②ある程度そう思う	37
③あまりそうは思わない	22
④そうは思わない	5
合計	**101**